

1液弱溶剤エポキシ系高付着高日射反射率（遮熱）シーラー

1液サーモアイシーラー

THERMOEYE
サーモアイ® シリーズ
SERIES

あらゆる素材に 遮熱性能を

2026年2月

待望の1液多用途遮熱シーラー登場



コンクリート



洋瓦



スレート屋根



難付着
サイディング

特長

遮熱塗料の下塗りに最適
(ダブル反射対応)

日本ペイント遮熱上塗りと組み合わせることで、反射率を最大化させます。(遮熱効果は従来のニッペサーモアイシーラーと同じです)

あらゆる素材に適用可能
(難付着素材対応)

高い付着性をもつため、従来の遮熱シーラーでは適用外だった難付着の高意匠サイディングや洋瓦にも適用可能です。

1液ならではの利便性

1液タイプなのでロスやポットライフを気にせずご使用いただけます。使い切れる量を気にすることなく、夕方ギリギリまで施工することが可能です。

夏場インターバルオーバーの
リスクを低減

塗り重ね乾燥時間を比較的長く確保することが可能です。(30℃最大5日以内)

塗料性状・荷姿・塗装方法

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	使用量(kg/㎡/回)	塗装方法
ニッペ1液サーモアイシーラー	ホワイト	—	15kg	— ※1	0.14～0.28	はけ・ウールローラー・エアレスプレー

1液サーモアイシーラーの上に他のシーラーを塗装しないでください。縮みが生じる可能性があります。

※1少しでも希釈すると性能が低下します。

適用上塗り・適用下地

	適用上塗り塗料	適用下地
屋根	<ul style="list-style-type: none"> ● グランセラベスト 2液ファイン遮熱 ● サーモアイ DF ● サーモアイ Si ● パーフェクトクーラーベスト など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅用化粧スレート屋根 ● 洋瓦 ● セメント瓦 ● 陶器瓦 ※日本瓦を除く
外壁	<ul style="list-style-type: none"> ● ファインサーモアイウォール DF ● ファインサーモアイウォール Si ● 水性サーモアイウォール DF ● 水性サーモアイウォール Si など 	<ul style="list-style-type: none"> ● モルタル面 ● コンクリート面 ● ALC パネル面 ● 窯業系サイディングボード

上塗りには強溶剤系塗料は使用禁止

上記以外の上塗り塗料につきましては最寄りの営業所にお問い合わせください

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	45分	30分	5分
塗り重ね乾燥	4時間以上7日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内

施工上の要点・注意事項

- 水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります)。
- 下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ 9.8MPa (=100kgf/㎡)以上(洋風コンクリート瓦では 150～200kgf/㎡以上)の高圧水洗か金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- 昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- 使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
- 吸い込みが少ない素地や下地の場合には、乾燥不良による縮みや膨れが起こる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにとってください。
- 粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、最寄りの営業所にご相談ください。
- シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- 防さび性はありません。むね、すみむねなど金属製役物が、さびている場合は、発錆部とその周囲を十分にケレンし、下塗りに、「ニッペ1液ハイボンファインテック」塗装後、上塗りを塗装してください。
- 無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。
- 本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■ 詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前にご相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

● 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
● 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
● Copyright © 2026 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
● 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-E003

NP260120T

2026年01月現在